

第14回 横浜震災対策技術展シンポジウム・セミナー

テーマ「災害と地域コミュニティ継続のあり方」

～三宅島噴火から10年、復興に学ぶ～

(開催主旨)

首都圏では、大規模な地震の切迫性に加えて、近年はゲリラ的な都市水害による思わぬ災害に見舞われています。大規模な災害に対応するためには、地域に関わる様々な立場の人々による連携活動が重要なキーワードになります。

東京都三宅島では雄山の噴火からまもなく10年を迎えます。現在の三宅島の状況、島民の避難生活、そして、復興の現状について、住民、技術者、行政のそれぞれの関係者からの報告、意見を頂き、地域コミュニティ継続（CC:Communities continuity）のあり方を考えたいと思います。本セミナーには、当時の東京都副知事として陣頭指揮に当たられた青山 侑（やすし）氏（明治大学教授）が基調講演とパネル討論のアドバイザーとして登壇されます。

(参加対象者)

住民、技術者、企業防災担当者、自主防災組織関係者、行政担当者等

(セミナー内容)

日 時：平成22年2月4日（木） 午前10時～12時

場 所：パシフィコ横浜／アネックスホール2F

主 催：社団法人 日本技術士会 防災支援委員会

テーマ：「災害と地域コミュニティ継続のあり方～三宅島噴火から10年、復興に学ぶ～」

(資料代) 500円

(講演プログラム)

10:00～10:05 挨拶 日本技術士会 防災支援委員会 委員長 大元 守

10:05～10:45 基調講演「三宅島噴火災害に学ぶ(仮題)」

明治大学専門職大学院 教授、元東京都副知事 青山 侑

10:45～12:00 パネルディスカッション

(報告1)「三宅島は今ー帰島から復興へー(仮題)」

東京都総合防災部 (元三宅支庁総務課長(当時)) 齋藤 實

(報告2)「三宅島帰島で砂防ダムが果たした役割(仮題)」

アジア航測(株) 技術士 (林業部門森林土木) 天野 篤

(報告3)「島民からみた地域コミュニティと災害復興(仮題)」

三宅島島民 ネットワーク三宅島代表 宮下 加奈

アドバイザー

明治大学専門職大学院 教授、元東京都副知事 青山 侑

(コーディネータ)

日本技術士会 防災支援委員会 山口 豊

以上